

ニューヨーク周辺の被害調査を行いました。改めて都市の災害に対する脆弱性を痛感しました。

また、昨年末に話題となった維持管理の問題は、港空研が港湾技術研究所として設立当初から長年力を入れてきた研究であり、その真価が問われる時となっています。また、海洋開発の研究も、さらに推進する必要があります。昨年末には総合海洋政策本部の長田事務局長が来所され、離島開発や海洋エネルギーの研究体制の強化を要請されています。さらに、これまで鋭意進めてきた海の環境に関する研究も、ブルーカーボンの研究など世界をリードする研究であり、その発展が大いに期待されています。

もちろんこうした研究は、多くの研究機関と連携して行う必要があります。また、国土交通省との具体的な形での協力も不可欠です。さらに、国際的連携も成果が見える形で進めなければなりません。港湾空港技術研究所は、港湾や空港を中心とした海の研究によって世界に貢献することを目指しており、その目標に向かってさらに努力していきたいと思っております。本年も多くの方々のさらなるご指導・ご協力をお願い申し上げます。

平成 25 年 1 月 4 日

独立行政法人港湾空港技術研究所
理事長 高橋重雄

◇PARI◇=====

2. 平成 24 年度 第二回 海岸工学特別講演会のご案内

=====◇PARI◇

「平成 24 年度 第二回 海岸工学特別講演会」を以下の要領で開催します。

- ・日時： 平成 25 年 1 月 15 日（火） 14:00～17:30
- ・場所： （独）港湾空港技術研究所 1 階大会議室
（最寄り駅：京急久里浜駅）

なお、詳細なプログラム、申し込み方法については、下記の URL をご覧下さい。

<http://www.pari.go.jp/event/seminar/2012/20130115.html>

◇PARI◇=====

3. ハリケーン・サンディによる高潮災害（港湾・海岸）緊急調査速報
（概要版）

=====◇PARI◇

（独）港空研と（一財）沿岸技術研究センターからなる調査団が、平成 24 年 12 月 7 日から 12 日にかけて、ハリケーン・サンディによる高潮災害（港湾・海岸）に関する緊急調査を行いました。12 月 7 日、「The Port

Authority of New York & New Jersey」を訪問しました。また、12月8日から、ニュージャージー州とニューヨーク州にかけて、沿岸部の被災状況調査も行いました。

<http://www.pari.go.jp/research/international/2012/20121208.html>

◇PARI◇
=====
4. 第10回国際沿岸防災ワークショップ（於：チリ国）開催結果報告
=====◇PARI◇

平成24年12月10日、チリ共和国・サンティアゴのカトリック教皇大学において、（独）港湾空港技術研究所、カトリック教皇大学等の主催で、「第10回国際沿岸防災ワークショップ」を実施しました。また、12月12日、同場所において、「SATREPS第2回合同調整委員会」が実施され、参加しました。

<http://www.pari.go.jp/files/4702/1744210319.pdf>

◇PARI◇
=====
5. 報告：国際会議・国際出張
=====◇PARI◇

1) 「15th World Conference on Earthquake Engineering」(ポルトガル・リスボン)において、研究発表、情報交換を行いました。

<http://www.pari.go.jp/files/4661/240765621.pdf>

2) 「運輸分野におけるコンクリート技術セミナー」(ベトナム・ハノイ)において、講演及び情報収集を行いました。

<http://www.pari.go.jp/files/4664/487309732.pdf>

3) 「第3回 ライフサイクルシビルエンジニアリングに関する国際シンポジウム (IALCGE2012)」(オーストリア・ウィーン)において、研究発表を行いました。

<http://www.pari.go.jp/files/4662/1040430512.pdf>

4) 「第2回 地盤材料の構成モデルに関するシンポジウム」(中国・北京)において、研究発表を行いました。

<http://www.pari.go.jp/files/4665/1816024312.pdf>

5) 「港湾施設の技術基準に関するセミナー」(ベトナム・ハノイ)において、講演を行いました。

<http://www.pari.go.jp/files/4701/695374511.pdf>

◇PARI◇
6. 「港湾空港技術研究所報告・資料」の発刊
◇PARI◇

港空研の研究成果として、「港湾空港技術研究所報告」、「港湾空港技術研究所資料」を公表しています。今回は昨年12月発行分を紹介します。
<http://www.pari.go.jp/result/topics/2012/20121221.html>

○港湾空港技術研究所報告・資料の検索ページ
<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/index.cgi>

前身の港湾技術研究所時代の論文も含め、これまでの全ての当研究所の論文が掲載されており、外部の方も容易に論文のPDFファイルをダウンロードできます。

○報告：鳥類の食性の探究による干潟生態系の保全と再生
<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20121221135609>

○報告：製鋼スラグ混合土の配合・混合条件がその力学特性に与える影響について
<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20121221135941>

○資料：ハイブリッド重力式栈橋の開発および耐震性の検討
<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20121221140410>

○資料：異なる解析手法による直杭式栈橋のレベル1地震時の応答特性の比較
<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20121221140552>

○資料：平成23年東北地方太平洋沖地震による津波の遡上と地形および底質粒径の変化―波崎海洋研究施設における現地調査―
<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20121221140712>

○資料：廃棄物海面処分場の遮水工施工時の品質管理・評価手法の提案
<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20121221140851>

○資料：不同沈下測定を目的とした車載型レーザースキャナ測量
<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20121221140957>

○資料：セメント固化処理土を原料土として再利用する場合の配合の検討
<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20121221141128>

◇PARI◇=====

7. 「港湾空港技術研究所 年次報告 2012（日本語版）」の発刊

=====◇PARI◇

「港湾空港技術研究所 年次報告 2012（日本語版）」を発刊しました。
http://www.pari.go.jp/event/annual_report/

◇PARI◇=====

8. 技術情報誌「PARI Vol.10 2013年1月号」の発刊

=====◇PARI◇

技術情報誌「PARI Vol.10 2013年1月号」を発刊しました。
<http://www.pari.go.jp/event/publicity/pari/>

◇PARI◇=====

9. 事務局からのお知らせ

=====◇PARI◇

- ◆本メールは、今まで港空研が主催した講演会や一般公開に参加し、メールアドレスを登録された方にお送りしております。
- ◆メールマガジン「PARI Club 通信」の配信登録、配信停止、およびメールマガジンに関するご意見、ご要望は、本メールに返信するか、以下のアドレスに送付ください。
「pariclub@ipc.pari.go.jp」
- ◆配信停止の場合は、お手数ですが、件名を「メール停止希望」として送付願います。